

令和6年度
新潟県農業再生協議会
(令和7年3月24日開催)

議事録

令和6年度新潟県農業再生協議会通常総会 議事録

日時：令和7年3月24日
午前10時～10時40分
場所：新潟県自治会館別館コンベンションホールゆきつばき

開会（事務局）

- 令和6年度新潟県農業再生協議会通常総会を開会する。
- はじめに、本協議会の石山会長より、開会の御挨拶を申し上げる。

開会あいさつ（石山会長）

- 本日は、御多用のところ、会員の皆様から御出席を賜り、感謝申し上げます。
- 昨年夏の米の端境期における品薄から始まった流通の混乱、それに伴う米価の高騰など、現在、米をめぐる状況はめまぐるしく変化しており、国においては、政府備蓄米の買戻し条件付売渡しなど、御尽力いただいているところだが、米の流通が早期に正常な状態に戻るよう、今後も対応いただきたいと考えている。
- さて、本県は日本一の生産量を誇る米生産県であるため、我が国の食料供給基地として、食料安全保障に貢献していく必要があるが、本協議会としても、新潟米を年間通じて安定供給していけるよう、県生産目標に沿った生産を推進している。
- また、近年、農業者の高齢化や離農が加速しているが、3月末までに作成される地域計画の実効性の確保に向けて、地域計画に位置付けられた担い手が儲かる水田農業を実現できるよう、関係団体が一丸となって支援していくことが重要であると考えている。
- 本日は、「新潟米基本戦略の改定」と「令和7年度事業計画及び収支予算」について審議いただくが、今後の新潟米生産の方向性について、忌憚のない御意見を賜るようお願い申し上げ、開会の挨拶とする。

事務局

- 本協議会は原則公開としており、議事録についても、新潟県農業再生協議会のホームページに公開することとなっているので、承知願う。
- 本日の出席状況を別紙の出席者名簿で確認する。

～出席者名簿により出席報告～

- よって、規約第15条に基づき、本総会は成立している。
- それでは、これからの進行について、石山会長にお願いしたいが、いかがか。

会員：異議なし

事務局

- それでは、石山会長にお願いします。

石山会長

- 次第に沿い、議事の進行を務めさせていただきます。
- なお、本日の議事録については、事務局で作成することとし、議事録署名人の選任については、慣例により一任いただきたいが、いかがか。

会員：異議なし

石山会長

- それでは、議事録署名人を新潟県主食集荷商業協同組合の関口理事長、新潟県農業共済組合の佐々木組合長理事にお願いします。
- それでは、議事に移る。第1号議案「新潟米基本戦略の改定について」事務局から説明願う。

新潟県農林水産部農産園芸課 渡部課長

～第1号議案 新潟米基本戦略の改定について説明～

石山会長

- 第1号議案につきまして、御質問・御意見等を受け付けるが、いかがか。
- 御質問・御意見がなければ、第1号議案は承認としてよいか。

会員：異議なし

石山会長

- それでは、規約第15条に基づき、第1号議案は原案どおり承認された。
- 次の議事に移る。第2号議案「令和7年度事業計画及び収支予算について」まずは、「事業計画」について事務局から説明願う。

新潟県農林水産部農産園芸課 渡部課長

～第2号議案のうち、令和7年度事業計画について説明～

石山会長

- 次に、「収支予算」と「会費の徴収」について、事務局から説明願う。

新潟県農業協同組合中央会 小見常務理事

～第2号議案のうち、収支予算及び会費の徴収について説明～

石山会長

- 第2号議案につきまして、御質問・御意見等を受け付けるが、いかがか。
- 御質問・御意見がなければ、第2号議案は承認としてよいか。

会員：異議なし

石山会長

- それでは、規約第15条に基づき、第2号議案は原案どおり承認された。
- 以上で議事は終了となる。
- 続いて、「その他」ということで、まずは、北陸農政局新潟県拠点の田口地方参事官から情報提供をいただく。

北陸農政局新潟県拠点田口地方参事官

～資料5について説明～

- 資料5は、先週、3月19日に公表させていただいた資料で、水田における作付意向の第1回中間とりまとめで、1月末時点のものとなる。(各都道府県の状況をまとめたものを説明)
- 全国の令和7年産の作付意向が、都道府県の生産目安の積み上げより減少していることについて、令和7年産の1月末時点の作付意向は128.2万haであり、前年産から2.3万ha増加している。都道府県が作成した目安の積み上げが約4万ha増であり、それとは差があるが、いずれも増産傾向である。
- 今回は、生産者への聞き取りではなく、市町村の農業再生協議会段階での見通しがほとんどであり、今後、営農計画書が生産者へ配布され、作付意向が反映されることで、変動する見込である。
- 弊省としては、引き続き、きめ細やかな情報提供を行いながら、需要に応じた生産を推進してまいりたい。
- 作付意向調査については、今回から面積情報も公表することとした。本調査結果を受け、生産者の作付意向を注視するとともに、在庫等の需給状況のきめ細かい提供と、産地との意見交換を行って需要に応じた生産を推進していきたい。
- 最後になるが、需要に応じた生産を引き続きお願いしたい。

石山会長

- ただいまの説明について、御質問・御意見等を受け付けるが、いかがか。

会員：質問なし

石山会長

- 続いて、需要に応じた生産に向けた今後の取組について、県農産園芸課の渡部課長から説明願う。

新潟県農林水産部農産園芸課 渡部課長

～資料6について説明～

- まず、先日公表された、1月末時点の令和7年産米の作付意向については、今ほどの田口参事官の御説明のとおりであり、今回公表されたのは、1月末時点の結果であり、この時点では、農業者ごとの生産の目安がまだ提示されていない市町村も多く、農業者は作付計画を検討している段階であり、その意向を正確に把握することは難しいため、今後大きく変動する可能性が高い。

- 一方、地域農業再生協議会や認定方針作成者と意見交換を行ってきたが、
 - ・ 主食用米と非主食用米の価格差が開いたことで、農業者の7年産は主食用米の作付意向が強くなっている
 - ・ 農家に米を高値で買い付けにくる業者が多くいるようで、今まで地域の認定方針作成者の方針に従って生産していた農業者が他の業者に出荷し、方針作成者の集荷率が低下している。
 - ・ 新たな業者の参入や、農業経営の大規模化による全体的な収量の低下により、集荷量が減少している。
 - ・ 加工用米は実需との繋がりがあるので途切れさせたくない。
 - ・ 海外から新潟米の需要があり輸出を増やしたいが、主食用米の価格が上がったので、輸出用米の提案を農業者にしてもなかなか振り向いてもらえない。
 という声を伺っている。
- 今ほど説明したように、生産現場では主食用米の作付意向がかなり強まっており、1月末の作付意向より主食用米の作付面積が増加する可能性が高いため、作柄にもよるが、令和7年産の主食用米の生産目標数量は確保できる見込みである。一方、主食用米の作付意向の高まりにより、これまで実需と結びついて取組を進めてきた非主食用米の生産の減少が懸念される。
- このため、引き続き、県生産目標に沿って、主食用米だけでなく非主食用米の生産も推進するとともに、気候変動リスクに備えた対策の強化により、安定的な生産量の確保を図ってまいらる。
- また、非主食用米について、多収性品種を導入して収量を上げて、低コスト生産に取り組み経費削減をすることで、所得を主食用米に近づけることは可能。令和6年度に県で実施した、非主食用米の省力・低コスト生産のモデル実証では、10a当たりの労働時間8時間未満、生産費8万円未満という目標をクリアしており、令和7年度においては、新規事業で省力・低コストに加えて、多収にも取り組むモデル実証を行う。明日、委託先選定のためのプロポーザル審査を実施する予定。
- 支援を強化した産地交付金県設定の十分な活用と合わせ、省力・低コスト・多収栽培により、非主食用米の所得の確保を図っていく。
- なお、非主食用米は労力分散や経営リスクの分散に効果的であることから、作期分散や経営のリスクヘッジの観点も取り入れて作付計画を検討するよう、今後も規模拡大を図っていく経営体を中心に推進していく。

石山会長

- ただいまの説明について、御質問・御意見等を受け付けるが、いかがか。

会員：質問なし

石山会長

- 特に無いようだが、最後に他に何かあるか。
- 特に無いようなので、私の任を解かせていただく。後は事務局に対応を願う。

事務局

- 閉会にあたり、新潟県農林水産部窪田部長から挨拶申し上げる。

閉会あいさつ（新潟県 窪田農林水産部長）

- 閉会にあたり一言御挨拶申し上げます。
- 本日は新潟米基本戦略の改定及び令和7年度の事業計画、収支予算を協議いただき、御礼申し上げます。
- 水田農業は全国的に担い手不足という状況で、本県も同じような状況となっている。
- 現在、流通の混乱というようなこともあり、需要に応じた生産という言葉が本日何回もでてきたが、それに対しての情勢が、今後大きく転換してくるのではないかと考えている。
- 需要に応じた生産が担い手の所得向上につながる。さらに、国民への食料安定供給、食料安全保障の観点に結びついていくということが重要だと思っている。
- そのためには、短期的な状況への対応ということだけではなく、持続可能な、中長期的な対応で、我が県が今後も食料供給県として貢献していく。そして、しっかりとそこに担い手の経営が成り立つ世界を構築していくべきだと思っているので、関係団体から今後も御協力をお願いしたい。
- 最後になるが、主食用米と非主食用米を合わせた水田農業全体での所得の最大化という考えのもと、令和7年度もしっかりと生産対策を講じてまいりたいと考えている。
- 以上で、閉会の挨拶とする。

事務局

- 以上をもって、新潟県農業再生協議会通常総会を閉じさせていただく。

議事録署名人

窪田 眞佐徳 

議事録署名人

佐々木 豊 

